

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	小児看護方法Ⅱ			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 小児看護学①小児の発達と看護 2) メディカ出版 小児看護学②小児看護技術 3) メディカ出版 小児看護学③小児の疾患と看護						
テキスト以外の教材・参考書等	1) インターメディカ 写真でわかる小児看護アドバンス 2) 医学書院 系統看護学講座 小児看護学① 小児臨床看護各論 3) 医学書院 系統看護学講座 小児看護学② 小児臨床看護各論						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>実際に演習をすることで、小児看護学において、小児に関わる際に必要な知識や技術が習得できるようにする。検査・処置を必要とする小児の看護技術を習得するとともに、健康障害をもつ小児と家族の看護上の問題を解決するための方法が理解できることを目的とし、既習学習の小児看護学概論、小児看護方法Ⅰを踏まえ、実習に必要な事前学習をまとめながら進めていくことで、実習での学びを深められるように実習につながる学習にしていく。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児に多い検査・処置について理解できる。</li> <li>2. 小児看護技術を習得できる。</li> <li>3. 事例展開を通し、健康障害を持つ小児と家族のアセスメントができる。</li> <li>4. アセスメントを基に、小児と家族に必要な看護を考えることができる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験 課題レポート						
備考	事例展開では、グループワークで援助計画を立案し、実際の方法について役割分担し、演習する。  関連科目：小児看護学概論, 小児看護方法Ⅰ						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	アセスメントに必要な技術 1) 小児看護技術とは 2) バイタルサイン測定 3) 身体測定	
2	バイタルサイン測定、身体測定	演習
3	検査・処置を受ける小児の看護	
4	1) プレパレーション、ディストラクション 2) 薬物療法の看護（与薬、輸液管理、抑制、検体採取）	
5	プレパレーション、ディストラクションの実際	DVD 又はビデオ
6	小児の事例展開 1) 事例展開の基礎知識	
7	アセスメント	演習
8		
9		
10	問題点の抽出、看護援助の検討	演習
11	具体策の立案	演習
12		
13	看護場面での援助技術	演習 グループワーク
14		
15	終講試験 まとめ解説	